



※本資料は当社ホームページで公開しております動画「CAMベトナムウィークリー(毎週月曜更新)」を元に作成しております。右のQRコードからご視聴いただけます。



情報提供用資料

2025年1月20日

CAMベトナムウィークリー (先週のVN指数：1/10-1/17)



	週間	月間	YTD
VN指数	1.51%	-1.39%	-1.39%
VN30指数	1.57%	-2.33%	-2.33%
VN中型株指数	2.50%	-2.25%	-2.25%
VN小型株指数	2.65%	-1.56%	-1.56%

先週の指数は1230.48ポイントから1249.11ポイントへと1.51%の反発となりました。ベトナム国内では、上場企業が昨年良好な業績を発表し始めたこと、海外では、昨年12月の米消費者物価指数の発表を受けて米長期金利が低下したことや、イスラエルとイスラム組織ハマスが停戦で合意したことなどを背景に投資家心理が改善し、上昇基調に転じました。規模別に見ますと、大型株のVN30指数が+1.57%、中型株指数が+2.50%、小型株指数が+2.65%と、それぞれ反発いたしました。

	週間	月間	YTD
為替レート (ドン対円レート)	-1.86%	-1.50%	-1.50%

通貨ベトナムドンにつきましては、引き続き米ドルに対して横ばい圏で推移しました。ドル・円相場は、昨年12月の米消費者物価指数で、エネルギーと食品を除くコア指数の上昇率が市場予想を下回り、米長期金利が低下した一方、日銀が1月にも追加利上げに踏み切るとの観測が強まり、ドル安円高となりました。ベトナムドンは円に対して-1.86%と下落に転じております。

セクター	騰落率	セクター	騰落率
金融	2.3%	素材	2.9%
不動産	0.8%	公益事業	0.2%
生活必需品	1.2%	エネルギー	4.3%
一般消費財	0.7%	情報技術	1.3%
資本財	2.5%	ヘルスケア	2.7%

セクター別に見ますと、全セクターが上昇いたしました。特に右真ん中のエネルギーがロシアの原油輸出などに対する米政府の制裁強化発表を受けた供給懸念で原油高となる中、+4.3%と大きく反発いたしました。一方、公益事業は+0.2%と小幅な反発にとどまっております。



銘柄名[ティッカー]	騰落率
バオ・ベト・ホールディングス（金融）[BVH]	+5.5%
ベトナム石油総公社（エネルギー）[PLX]	+5.0%
テクコムバンク（金融）[TCB]	+4.3%

銘柄名[ティッカー]	騰落率
ビンコム・リテール（不動産）[VRE]	▲1.8%
ベカメックス（不動産）[BCM]	▲1.1%
ベトインバンク（金融）[CTG]	▲0.8%

大型株VN30種構成銘柄の騰落率を見ますと、保険大手のバオ・ベト・ホールディングスが+5.5%、ベトナム石油輸総公社が+5.0%、大手民間銀行のテクコムバンクが+4.3%とそれぞれ反発しております。一方、下落銘柄は、商業施設の開発運営を手掛けるビンコム・リテールが-1.8%、工業団地開発大手のベカメックスが-1.1%とそれぞれ続落いたしました。また、大手国営銀行のベトインバンクが-0.8%と反落しております。

VN指数直近1年の推移



先週のVN指数は3週ぶりに上昇に転じました。昨年は経済成長率が7%を超え、新車販売台数が前年比2割増の49万台に達するなど、景気拡大が続いております。一方、バリュエーション面では、足元の予想PERが10.2倍と過去平均を下回る水準にあり、依然として割安感が注目されます。

以上